

# 一般質問の概要

令和3年第4回 二宮町議会定例会

○12月9日（木）午前9時30分～

（前田憲一郎、野地洋正、二宮せつこ、羽根かほる、坂本孝也、一石洋子 各議員）

○12月10日（金）午前9時30分～

（根岸ゆき子、大沼英樹、小笠原陶子、渡辺訓任、松崎 健 各議員）

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p>これからの学校経営等について問う （放映件名：これからの学校経営等について）</p> <p>教職員の働き方改革の一つとして出されている令和5年度以降、段階的に地域移行される休日の部活動の指導に対しどのように対応していくのか。最近増加傾向にあるヤングケアラーに対し、町ではどのような対策、支援策を講じているのか。海老名市では市職員・関係機関・団体の職員を対象にした研修会を10月26日に開催した。不登校や問題行動を起こした児童生徒に対する対策はいかにしていくのか。本年10月14日の読売新聞によると文部科学省の「問題行動・不登校調査」で全国の小中学校で2020年度に不登校だった児童生徒数が発表され19万6,127人で過去最多。8年連続で増加し、前年度から計1万4,855人増えた。また、20年度に自殺した小中高生は415人で前年度から98人増え、1974年に調査を開始して以来最多となった。一方いじめの認知件数は7年ぶりに減少した。しかし、全体のいじめ件数が減る中、「パソコンや携帯電話などでの中傷や嫌がらせ」（ネットいじめ）は1万8,870件で過去最多となった。日本大学の末富芳教育行政学教授は「コロナ禍が子どもたちに与えた影響は大きく、今回の調査結果は衝撃的だ。教員は通常業務に加え、感染予防などで多忙な状況が現在も続いている。国や教育委員会は、子どもの相談に応じるスクールカウンセラーや、家庭の問題にも対応できるスクールソーシャルワーカーを増やし、子どもたちのSOSをすくい上げる仕組みを早急に構築してほしい」と話している。町は、11月3日のワークショップで駅前複合施設の整備を施設一体型小中一貫教育校の設置計画と合わせて検討していくと考えを述べているが、小学校を統合することができないのであれば、早急に中学校を統合することはできないか。2つの中学校に別れる一色小学校の児童の心情や教職員の負担軽減等、児童生徒、教職員にとってメリットが数多く考えられる。そこで次の要旨について質問させていただく。</p> <p>（要旨）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 令和5年度からの休日等の中学校部活動の指導等運営について。</li><li>2. ヤングケアラーの支援に向けた取り組むべき施策について。</li><li>3. 不登校や問題行動に対し児童生徒の安全安心を守るために、どのような対策を講じていくのか。</li><li>4. 町立中学校を一つに統合することはできないか。</li></ol>

**デジタル化に伴う ICT活用の現状と今後  
(放映件名：デジタル化への環境整備)**

政府は、本年7月「自治体DX推進手順書 概要」を公表、9月にはデジタル庁を設置し、本格的に「デジタル社会の構築」「地方行政のデジタル化」に向けて動き出した。当町においてもビジョンである「一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供し、多様な幸せが実現できる二宮町」を目指し、町民の利便性向上や自治体の業務効率化を進めるべく、取り組みを加速しなければならない。

小中学校においては、GIGAスクール構想のもと、教員に加え児童生徒全員に「一人1台のタブレット」が、新型コロナウイルス対策とも重なり、既に前倒しされ貸与されている。その整備には莫大な税金が投入されており、今後も機材更新、維持管理、研修費等々、自主財源である私たちの町税も含め、今後も支出し続けるであろうことは容易に想像がつく。

「ビジョンに最も近い二宮町」行政だけではなく、私もあなたも、若いも若きも、全町民が推進していくことが大切であり、そのためには、全部門が連携、つながり、費用以上の効果を生み出す体制、体質を築き上げなければならないと考える。以下質問する。

1. 自治体デジタル化推進の現状と今後（政策総務）
2. 学校教育における現状と課題、生涯学習、社会教育への活用（教育委員会）
3. 高齢者ほか町民福祉との共有（健康福祉）
4. 公共施設のオンライン環境整備（政策担当）

2

**野地洋正  
議員**

3	二宮せつこ 議員 (2件)	<p><b>タクシー利用の助成について</b> (放映件名：タクシー利用の助成について)</p> <p>町では、在宅障がい者と在宅高齢者の移送サービスとして、申請により1枚500円のタクシー券を発行していますが、使用方法についてホームページには詳細説明がなく、実際のチケットに一度の使用は一枚との説明書きがされています。近隣市町ではホームページでも情報が見える化されており、助成の内容がわかりやすくなっております。また、発行枚数に違いはあるものの、一度の使用枚数は利用者に寄り添った内容となっております。そこで町の現状と今後について以下4点伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. タクシー券発行の意味について</li> <li>2. 使用率50%の内容をどのように考えていたのか</li> <li>3. ホームページ上での内容の見える化について</li> <li>4. 年度途中での使用枚数変更の考えは</li> </ol>
		<p><b>使用済み紙おむつの再生利用について</b> (放映件名：使用済み紙おむつの再生について)</p> <p>使用済み紙おむつは、現在可燃ごみとして町は処理していますが、環境省より「使用済み紙おむつの再生利用」のガイドラインが令和2年に出されています。</p> <p>回収方法から再生まで変革を求められ、SDGsの基本理念にもある、予防、削減、再利用の実効をどのように形にしていくのか2点伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイドラインを町はどの様に受け止めているのか</li> <li>2. 高齢者施設、保育園、家庭からの使用済み紙おむつの収集方法が課題であるが、現状を踏まえて今後の考えを伺う</li> </ol>

4	羽根かほる 議員	<p><b>新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について</b> (放映件名：新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について)</p> <p>新庁舎・駅周辺公共施設再編計画は、昨年、今回の町民ワークショップを終えたが、いまだ町民にとっては不明点や疑問点が残っている。ワークショップでの町民の意見をどのように捉え、どのように反映し、活かし、より豊かな町民の生活を実現していくための計画を策定するのか。</p> <p>また、新庁舎の場所と位置付けている、ラディアン周辺の浸水リスクについてどのような対策を行い、災害対策拠点として重要な役割を担う庁舎と、その周辺の災害リスク回避のために、どのような対策を講じ、守っていくのかなど不明点が残っている。駅前複合施設については、町民の毎日の生活に密接に関わっている。この先の、人口の変化、暮らしの変化等、様々な変化を見据えた計画でなくてはならない。</p> <p>わが町は施設再編の大きな転換期を迎えており、また非常に大規模な計画である。新庁舎・駅周辺公共施設再編計画について、町民のワークショップを終え、下記の点について町民の不明点、疑問点をひとつずつ取り除くことを続け、わが町が進めている計画がどのようなものであるか、広く理解を深める必要があると考え、以下の内容について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 昨年、今回の町民ワークショップの総括と町の考えは</li> <li>2. 新庁舎周辺の浸水リスクの具体策について</li> <li>3. 現在の計画内容と財政面、今後の進め方について</li> </ol>
5	坂本孝也 議員	<p><b>村田町政の町づくりの手法について</b> (放映件名：村田町政の町づくりの手法について)</p> <p>村田町政の町づくりの手法について、東京大学果樹園跡地の活用と、ラディアン周辺、駅周辺町づくりに焦点をあて伺う。</p> <p>&lt;要旨&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東京大学果樹園跡地の活用について <ol style="list-style-type: none"> <li>①6月議会で行った一般質問における懸案事項について</li> <li>②現在までの東京大学果樹園跡地の整備にはいくらの予算を使ったのか</li> <li>③B地区、C地区1（トイレ、駐車場等）、C地区2（みらいはらっぱ）に対する予算と委託先との契約内容について</li> </ol> </li> <li>2. ラディアン周辺、駅周辺町づくりについて <ol style="list-style-type: none"> <li>①町民対象に意見交換した結果はどうだったのか</li> <li>②北口商店街はどうなるのか</li> <li>③商工会はどうするのか</li> <li>④役場の跡地はどうするのか</li> </ol> </li> </ol>

**子どもたちの命と健康を守るために**  
**(放映件名：子どもたちの命と健康を守るために)**

「生きる力」を子どもたちの育成の目標にしながら日本社会は子どもたちの命と健康を本気で守ろうとしているだろうか。地域で生活する子どもたちの命と健康を守るために国と同じく自治体の役割は大きい。特に昨今の科学技術が子どもたちの命と健康に及ぼす影響を子どもの体の目線から考えることが必要な喫緊の局面にきている。

以下の要旨について 二宮町の子どもたちの命と健康を守るための役割を問う。

①厚労省は11月に子宮頸がんワクチンが勧奨再開の方向性を明らかにした。副反応被害の検証、救済、訴訟の課題は何一つ解決されていない。今後の町の役割を問う。

②新型コロナウイルスワクチンの副反応のリスクコミュニケーションについて子どもたちのための議論が必要だ。二宮町が子どもたちのために出来ることを問う。

③香害、農薬、化学物質について、日本は以前よりこれに起因する健康被害に対して先進国で格段に低い基準を持ち続けてきた。昨今、香害に苦しむ方々が増えている。町が子どもたちのために出来ることは何か。

④5G（第5世代通信システム）はかつて使われなかった人工的な電磁放射線であるミリ波が使われ波長が短くエネルギーが強いため人体に与える影響は4Gの10倍とも言われ発がん性も疑われることからベルギー、スイスでは5Gの使用を中止しており、世界の自治体レベルでは制限する動きも出てきている。技術革新の一方、健康被害のリスク回避は重要で特に子どもの健康を考慮することは必須だ。

町が取り組むべき施策を問う。

6 一石洋子  
議員

7	根岸ゆき子 議員	<p><b>二宮町教育等施設について</b> (放映件名：二宮町教育等施設について)</p> <p>1. 10月29日の教育委員会会議を傍聴したところ、学校のハード面についての課題として、一色小の少人数問題や西中が2年後には2学級になるという話が出ていた。物理的に学校施設を寄せていく必要があるという話だと思う。そのやりとりで、教育長はロードマップを早急に作るという話をされていた。一体型の小中一貫校の議論はストップしているかのように見えるし、小中学校長寿命化計画では、各校とも次の20年間の活用を目指すとする。</p> <p>長寿命化計画と児童数将来予測による学級数の変化の分析はマッチしているのか。</p> <p>ロードマップは1本の道で整理されるのか、何本か用意されるのか。</p> <p>材料はどんなものが出されるのか。</p> <p>今年の計画に盛り込む、との発言もあり、そうすると今の時点で相当なイメージがあるはずと思う。かたや新庁舎・駅周辺公共施設再編計画全体図の中で、小中学校一貫教育校(施設一体型)の推進と合わせて検討を進める、との記載もあり、期待が教育委員会に課せられているようだ。</p> <p>今後のスケジュールや内容について問う。</p> <p>2. 公共施設再配置・町有地有効活用実施計画のシンボル事業2として、スポーツ施設の管理運営の効率化に指定管理者の導入スケジュールが描かれている。指定管理者制度への取り組みに意欲はあったかとみられるものの進捗はなかった様子だ。</p> <p>2022年は計画が見直される。課題整理はされているか。</p>
8	大沼英樹 議員	<p><b>現町政が執る企画運営の決定と手法について問う</b> (放映件名：町の民主主義は守られているか)</p> <p>新庁舎に関する議案では僅差の議決、否決、修正を受けながらも根本的な変化がなく過日開催された町民ワークショップでは現計画案に対し苦言が複数出ている。現在まで議会内で混乱が発生した事業計画については議会だけではなく町民間にも混乱が発生しているが現在までの経緯をどの様に評価しているかを尋ねる。</p> <p>特に現在、進捗に混迷を来していると感じる新庁舎関連と東大農学部果樹園跡地活用計画関連について現在まで取られてきた予算及び事業の検討、決定、運営方法がどの様に行われてきたのかを尋ねる。</p>

9	<p>小笠原陶子 議員</p>	<p><b>二宮町の持続可能な魅力ある公園づくりについて</b> (放映件名：町の持続可能な魅力ある公園づくりについて)</p> <p>二宮町には吾妻山公園を始め、魅力ある公園が点在し、町民の憩いの場として機能している。 「町民とともに育てつづける公園」の運営について町の方針と施策をうかがう。</p> <p>①二宮町では公園愛護会を設置し町民参加で公園を維持管理しているが最近の運営状況を聞く。</p> <p>②市民や行政、学識経験者など、公園に関わる多様な人々が同じ場に集い、ともに公園の魅力を高める内容について考え、実践するための、公園運営における意見交換の場や活動の母体となるプラットフォームの設置が望まれるがどうか。</p> <p>③ラディアン花の丘公園は、季節によっては全く花のない公園となっている。名実ともに花のある公園にするための方策を聞く。</p> <p>④百合が丘にある峠公園は現在、イノシシが出たため、閉鎖している。現状と対策を聞く。他の公園は大丈夫なのかも合わせて確認する。</p>
10	<p>渡辺訓任 議員 (3件)</p>	<p><b>社会保障の負担軽減で子育て支援を</b> (放映件名：社会保障の負担軽減で子育て支援を)</p> <p>新型コロナ感染拡大は当町も含め全国的に一旦落ち着いているとされているが、来年当初にも第6波の拡大の可能性を指摘している専門家もある状況で、感染防止の諸策が継続される必要を認識する。経済指標は状況の改善を示しておらず、すでに見られる諸物価の高騰が今後拡大することも心配されている。</p> <p>国も様々な生活支援策を検討しているが、社会保障に対する負担を軽減することが暮らしの安心をもたらすと考える。特に、町は子育て世帯に対しての支援をうたっており、町独自の軽減策の実施が求められる。</p> <p>また、すでに町独自の施策も進められているが、国が進めるデジタルトランスフォーメーションがこれらの施策の継続を難しくするとの指摘がある。この点についての考えはどうか。</p> <p>① 国民健康保険税で軽減を受けている世帯数はどのくらいか。また、国の施策による来年度からの均等割軽減の対象は二宮町でどのくらいになるのか。</p> <p>② 現在の子ども医療費助成制度の利用状況は。コロナ禍で受診控えも言われるが、この点はどうか。また、小児医療費助成制度適用年齢を拡げることや所得制限をなくすなどについては、どのように考えるか。</p> <p>③ 幼児の教育・保育については3歳以上は国施策で無償とされたが、0歳から2歳までの保育料と、3歳以上についても主食・副食費は徴収されている。これらについて、町で無償にするにはどの程度の財源が必要か。</p> <p>④ DXで様々な手続きや書式が標準化されても、町独自の施策(例えば、中学生までの医療費助成や延長保育・預かり保育についての補助など)は変わらず守られるのか。</p> <p>以上</p>

**新庁舎整備事業の諸前提について**  
**(放映件名：新庁舎整備事業の諸前提について)**

新庁舎整備について、現在、駅前・ラディアン周辺施設整備計画のワークショップと基本構想の策定が進められている。現在の庁舎の移転の必要性については概ね同意される一方で、立地に関して異論がある状況と認識している。本事業の前提について確認しつつ、進捗状況と今後の展開について問う。

- ① 2017年の整備手法調査報告が新庁舎整備事業の前提となっていたと認識するが、当時の報告内容から、事業の前提として変化したことは何か。
- ② 複合施設、ホテル跡地の活用などが構想されるとともに、地域集会施設を含めた施設の修繕、建て替えなどが進むことで、財政見通しはどのようなのか。
- ③ 今年度中に、庁舎については基本計画の策定、駅前の施設整備については基本構想の策定を目指しているが、令和7年度の新庁舎竣工へのスケジュールは変わらないのか。

以上

**環境保全事業に対応する体制づくりを**  
**(放映件名：環境保全事業に対応する体制づくりを)**

9月議会で、里山保全を進める体制づくりを求めた。その間も、イノシシについては川匂、釜野、百合が丘と新たに出現が確認され、対応策が遅れる中で農作物にも被害が出ている。先日は、吾妻山の吾妻神社でも発見されるとともに、私自身も目の前にイノシシが現れ、見守りをしたところである。出現箇所が、生産農地、家庭菜園、公園、学校と町所管部署を越えていることから、統括的に進める体制づくりを問う。

- ① 今回のイノシシ出現地区の拡大の原因は何か。
- ② 里山・山林、耕作放棄地、荒廃地の管理など地権者に対する働きかけはどのように進んでいるか。

以上

11	松 崎 健 議 員	<p><b>峠公園等に出没するイノシシを巡る町の対応</b>  <b>(放映件名：峠公園等に出没するイノシシを巡る町の対応)</b></p> <p>令和3年10月13日以降、峠公園に出没しているイノシシを巡って、現在町は捕獲強化に向けて対策を講じているところである。また、11月28日には山西小学校付近でもイノシシが目撃されていて住宅地に隣接する地域での出没が相次ぐ中、これまでの町の対応を巡ってはいくつかの課題、問題点もあると考える。そこで問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住宅地に隣接する地域に出没するイノシシに対する、地域住民の安心・安全のための対策は。その課題、問題点は。</li> <li>2. 今般新たに峠公園に出没したイノシシに対する、峠公園周辺住民並びに峠公園利用者の安心・安全は十分図られているとは言えないと考えるがいかがか。</li> <li>3. 今般新たに山西小学校付近に出没したイノシシに対する、近隣住民並びに山西小学校児童及び関係者の安心・安全は十分図られていると言えるか。</li> <li>4. イノシシ対策の一環として住宅地に隣接する場所の草刈等の環境整備が求められている。しかしながら当該地が「民地」である場合、近隣住民からの環境整備に関する要望は、「民地」であることを理由に、受け入れられていない。これはイノシシ対策にとどまらず、火災予防の観点からも町は民地の所有者に対し適切な管理を促していくべきと考えるがいかがか。</li> </ol>
----	--------------	--